



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社

コード番号 5192 URL <http://www.mitsuboshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 垣内 一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 増田 健吉

TEL 078-685-5630

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	49,854	4.5	5,593	18.5	6,920	15.9	4,815	18.2
26年3月期第3四半期	47,685	13.4	4,720	11.0	5,970	32.9	4,075	42.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 8,733百万円 (32.1%) 26年3月期第3四半期 6,609百万円 (115.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	74.54	—
26年3月期第3四半期	63.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	85,340	58,350	68.4	903.20
26年3月期	78,576	50,721	64.6	785.02

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 58,350百万円 26年3月期 50,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	2.1	7,200	17.6	7,100	△2.8	5,200	10.1	80.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	71,208,397 株	26年3月期	71,208,397 株
27年3月期3Q	6,603,829 株	26年3月期	6,596,735 株
27年3月期3Q	64,608,552 株	26年3月期3Q	64,616,116 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が尾を引きながらも、個人消費は底堅く推移し、設備投資は企業の業績改善を背景とした増加基調にあったこと、さらには為替の円安と原油安が進行したことなどから、全体としては緩やかな景気回復基調にあったと見られています。海外経済は、米国経済が堅調な景気回復過程にある一方、欧州はデフレ懸念とユーロ圏の政治不安に揺れ、資源国・新興国の景気は弱含みで推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高498億54百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益55億93百万円（前年同期比18.5%増）、経常利益69億20百万円（前年同期比15.9%増）、四半期純利益48億15百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内ベルト事業〕

自動車用ベルトは、消費税増税により国内新車販売が落ち込むなか、メーカーの新型車種投入効果により、新車組み込みライン用の売上高は前年同期並みに推移しました。また、補修用ベルトの売上高も横ばいとなり、全体の売上高は前年同期並みとなりました。

一般産業用ベルトや合成樹脂素材は、企業の設備投資の回復に伴い増加しました。また、OA機器用ベルトは、為替の円安進行により一部企業に国内生産回帰の動きがあったことから増加しました。

一方、運搬ベルトは前年同期に比べ大型案件が少なかったことから、売上高は減少しました。

その結果、当事業の売上高は207億75百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は51億91百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

〔海外ベルト事業〕

アジアでは、自動車用ベルトは新興国における補修市場の獲得に注力した結果、売上高が増加し、一般産業用ベルトも中国を中心に売上高が堅調に推移しました。また、OA機器用ベルトも日系ユーザの新機種への組み込み活動が奏功し、売上高が増加しました。

米国では、一般産業用ベルトは積極的な拡販活動により、農業用を中心に新規需要を獲得したことから売上高が増加し、自動車用ベルトも前年同期並みに推移したことから、全体では増加しました。

一方、欧州では、自動車用ベルトの売上高は横ばいで推移し、一般産業用ベルトはロシア国通貨の下落の影響などから減少しましたが、円安の影響により邦貨では微減にとどまりました。

その結果、当事業の売上高は223億80百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は19億41百万円（前年同期比51.1%増）となりました。

〔建設資材事業〕

土木部門は廃棄物処分場関連の工事物件や、遮水シートの子材料販売が好調に推移し売上高が増加しましたが、建築部門では、民間・公共の改修工事物件が減少し、全体では売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は35億87百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は1億55百万円（前年同期比38.2%増）となりました。

〔その他〕

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は31億10百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は59百万円（前年同期比62.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末は、現金及び預金の増加等により流動資産が38億83百万円増加したことに加え、有形固定資産が9億90百万円、株価の上昇に伴い投資その他の資産が18億91百万円とそれぞれ増加したことから、総資産は前連結会計年度末比67億64百万円増加の853億40百万円となりました。

一方、負債は、流動負債が12億9百万円減少したこと等により、前連結会計年度末比8億65百万円減少の269億89百万円となりました。

純資産は、四半期純利益等の計上により利益剰余金が37億17百万円、株価の上昇及び為替の影響によりその他の包括利益累計額が39億17百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比76億29百万円増加の583億50百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.6%から68.4%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国が安定的な回復基調にある一方、欧州はデフレ懸念とユーロ圏の政治不安に揺れ、中核のドイツ経済にも減速感が漂うなど、景気の先行きに不透明感が強まりつつあります。また、資源国・新興国も、政治・経済情勢等は不安定で、景気動向には依然として力強さが欠け、世界経済の減速が懸念されています。

国内では、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が尾を引くなか、日銀が追加金融緩和に踏み込み、さらには為替の円安と原油安が進行したことなどから、全体としては緩やかな景気回復基調を辿ると見られますが、今後の財政・金融政策や世界経済の動静によっては、景気回復のペースが鈍化する可能性もあると見られています。

このような状況を踏まえ、平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月10日の「平成27年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,326	17,931
受取手形及び売掛金	14,997	15,348
商品及び製品	10,640	11,237
仕掛品	1,444	1,864
原材料及び貯蔵品	2,337	2,246
その他	1,273	1,308
貸倒引当金	△81	△114
流動資産合計	45,939	49,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,869	6,860
機械装置及び運搬具(純額)	8,364	8,709
工具、器具及び備品(純額)	1,413	1,686
土地	4,258	4,350
建設仮勘定	214	503
有形固定資産合計	21,120	22,110
無形固定資産	79	80
投資その他の資産		
投資有価証券	11,135	13,009
その他	324	338
貸倒引当金	△23	△20
投資その他の資産合計	11,436	13,327
固定資産合計	32,637	35,518
資産合計	78,576	85,340

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,725	8,051
短期借入金	6,920	5,360
未払法人税等	1,207	704
賞与引当金	681	125
その他	3,632	4,717
流動負債合計	20,167	18,958
固定負債		
長期借入金	2,557	1,788
退職給付に係る負債	928	1,162
役員退職慰労引当金	20	23
その他	4,180	5,057
固定負債合計	7,686	8,030
負債合計	27,854	26,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	5,480	5,480
利益剰余金	35,708	39,425
自己株式	△3,414	△3,419
株主資本合計	45,925	49,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,708	7,044
為替換算調整勘定	△612	1,994
退職給付に係る調整累計額	△300	△325
その他の包括利益累計額合計	4,796	8,713
純資産合計	50,721	58,350
負債純資産合計	78,576	85,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	47,685	49,854
売上原価	33,516	34,307
売上総利益	14,169	15,547
販売費及び一般管理費	9,448	9,953
営業利益	4,720	5,593
営業外収益		
受取利息	54	81
受取配当金	207	268
為替差益	928	1,015
その他	329	171
営業外収益合計	1,520	1,536
営業外費用		
支払利息	100	58
その他	170	150
営業外費用合計	270	209
経常利益	5,970	6,920
特別利益		
固定資産売却益	224	—
投資有価証券売却益	—	126
特別利益合計	224	126
税金等調整前四半期純利益	6,194	7,047
法人税等	2,119	2,231
少数株主損益調整前四半期純利益	4,075	4,815
四半期純利益	4,075	4,815

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,075	4,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,546	1,336
為替換算調整勘定	987	2,606
退職給付に係る調整額	—	△25
その他の包括利益合計	2,533	3,917
四半期包括利益	6,609	8,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,609	8,733
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,929	21,112	3,731	44,773	2,912	47,685	—	47,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,767	2,213	0	7,981	2,631	10,612	△10,612	—
計	25,696	23,326	3,731	52,754	5,543	58,298	△10,612	47,685
セグメント利益	4,977	1,284	112	6,375	156	6,532	△1,812	4,720

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,812百万円には、セグメント間取引消去163百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,975百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,775	22,380	3,587	46,744	3,110	49,854	—	49,854
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,397	2,200	—	8,597	1,165	9,762	△9,762	—
計	27,173	24,580	3,587	55,341	4,275	59,617	△9,762	49,854
セグメント利益	5,191	1,941	155	7,289	59	7,348	△1,755	5,593

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,755百万円には、セグメント間取引消去308百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,064百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。